



第2回 美しい緑と花の町・ルーイエナ町民訪問記
 今回はルーイエナでの『歌と踊りとサウナ体験』を皆さまにお伝えします。

肩と肩、お尻とお尻、足と足を合わせて“オイラ、オイラ！”

ラトヴィアにおける「歌と踊り」はラトヴィア国民の誇りと愛情そのものです。ルーイエナ滞在中、初日の名前の日のお祝いパーティーから最終日のさよならパーティーまで、人が集まる場所には「歌と踊り」がありました。



▲くるくる回るロングスカート。風船のように美しく膨らみ印象的

ブラスバンドの演奏、透きとおるような歌声の合唱団。昨年東川で音楽交流のあった先生・生徒達との再会！

踊り手たちは民族衣装を身にまとい、終始笑顔で踊り続けます。女性のロングスカートはくるくるまわると遠心力で風船のように膨らみ、男性は背筋をぴんとして女性をエスコートするような踊りです。

男女とも軽快にステップを踏んで

いましたが、踊り終わった後は息をはずませていました。それだけハードな踊りなのです。

さよならパーティーでは実際にルーイエナの方達と訪問団全員で輪になって踊りました。まずステップが早い!! ついていくのが精一杯です。肩と肩、お尻とお尻、足と足を合わせ合い、“オイラ、オイラ!”と時を忘れて踊り続けました。

オイラの掛け声に特に意味はなく、



▲肩と肩、お尻とお尻、足と足を合わせて“オイラ、オイラ、”

日本の“エイヤサー、みたいな感じ”です。

そしてサウナ体験。ラトヴィアのサウナに興味津々の女性5人はシャワーを浴びて、いざサウナ室へ。

この日私たち訪問団を夕食に招待してくれたホストのビショフス校長



▲昨年演奏できなかったユリス君(中学校3年生)も今回は大熱演

先生自ら、腰タオル一丁で私達を待っていてくれました。

手にはたくさんの葉っぱがついたシラカバの枝が…。何だかコワイ…。後で知りましたが、シラカバで体をたたくことで筋肉のマッサージ効果が得られるのだそうです。

熱く焼けた石に水をかける度に蒸気が立ち込めます。温度がぐんぐん上がり、暑さで肌が痛い。“アチチチッ!”、そしてシラカバの枝攻撃!?! 校長先生は5人も相手にして全身真っ赤です。

最後パーティーお開きでの校長先生のひとこと。

「女性5人とサウナに入ったおかげで、今日は若返りました！」。

次号もお楽しみに！

主婦、鈴木 佳苗さん